

事務事業名	食生活改善推進支援事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5219				
			所属課室	健康増進課	課長名	櫻田正文				
			所属担当	健康づくり担当	担当者名	保坂望				
基本政策	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
	18	健康づくりの推進		01	一般	04	01	02	040	07
政策	31	保健・医療の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠	健康増進法、食育基本法						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・食生活改善推進員が事業をとおし、地域住民に食に関する知識を広め、食生活改善を推進し、健康と福祉の増進に寄与する活動を支援する。 ・各支部(5地区)食生活改善推進員会への事業補助金の交付。 ・親子料理教室・男性のための料理教室・良い食生活をすすめるためのグループ講習会などの開催支援。			事業費の主な内訳 ( 24年度 決算見込 ) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 協議会・協会・団体補助金 1,875 計 1,875						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績 5支部と本会に対し、事業費の補助金交付 25年度活動予定 5支部と本会に対し、事業費の補助金交付	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 団体における補助金使用率 % イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・食生活改善推進員 ・市民	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 食生活改善推進員会の会員数 人 イ 人口 人 ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・地域住民の身近な存在として、食生活改善のボランティア活動を推進する ・地域で開催される食改推の事業に参加できる	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 市民を対象とした事業開催回数 回 イ 市民の参加者数 人 ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・市民の健康保持増進及びQOL(生活の質)の向上 ・健康市民の増加	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 健康づくりを実践している市民の割合 % イ

年		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年 間 ト ー タ ル コ ス ト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,939	1,875	1,834	1,600	1,500		
		事業費計(A)	千円	1,939	1,875	1,834	1,600	1,500	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	5	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	261	260	200	250	230		
		人件費計(B)	千円	1,034	1,030	792	991	911	0	0
		(A)+(B)	千円	2,973	2,905	2,626	2,591	2,411	0	0
活動指標	ア	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
対象指標	ア	人	454.0	436.0	408.0	430.0	430.0			
	イ	人	72,854.0	72,566.0	72,566.0	72,566.0	72,566.0			
成果指標	ア	回	116.0	114.0	110.0	110.0	110.0			
	イ	人	6,992.0	6,756.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0			
上位成果指標	ア	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	戦後は栄養素欠乏症の人が多く、乳幼児死亡率が高かった。食生活が健康に及ぼす影響が大きいことから、昭和34年に厚生省より「栄養及び食生活改善実践地区組織の育成について」の通達が出され、ボランティアによる食生活
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成18年食育推進基本計画、平成22年第一次南アルプス市食育推進計画が策定、食育の推進に関わるボランティア育成が明記。今後、食育推進計画の実践団体として、生活習慣病予防や子どもの食育など健康づくりを支援する
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	・事業に参加する一般市民が少ない ・事業に参加した市民からは、事業の継続が望まれている

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成20年度から、市民を集めて開催する事業はかりでなく、他の目的で市民が集まっている場所に出向き事業を実施している
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	・支部事業であっても、市民全体を対象として参加者を募った。

事務事業名	食生活改善推進支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域住民に近い目線で健康づくりの支援を行うことで、市民の健康保持増進及びQOL(生活の質)の向上が期待できるので、施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市長が委嘱している団体の事業であるため、公共関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域住民に近い目線での健康づくり支援は、自主活動組織であるからこそ実現可能であり、今後も維持・継続していくことは妥当である。ただし、事業内容や目的については、時代に合わせた取り組みが必要となる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 慣例化している事業が多く、地域のニーズに合った事業の企画が必要である
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 各地区に密着した活動をする必要がある。他団体活動との目的が相違するため、他団体と統合しての目的達成には無理がある。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 事業運営ができない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 事業運営ができない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 食育活動を伴わない慣例化している炊き出し、おやつ配布などの事業を見直し、必要最低限の事業開催にする。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 会員のみで事業が進められるよう準備をすることで、事業当日の職員従事者がなくなる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全市民を対象とした活動をしている団体ではあるが、芦安地区に組織がないため芦安地区の住民に対して活動できていない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	この事業を実施することで、地域住民に対し食育推進計画の推進を実施することができる。今後は、住民のニーズを考え事業の内容を見直し(組織のない芦安地区の住民に対しても)、担当栄養士はアドバイザーとして携わり、自主的な活動ができるよう団体組織の見直し、育成も考えていく。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 地域に合った事業の実施 ② 食育本来の事業に合わないイベントの炊き出しの整理。 ③ 組織の自主的活動の推進	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 組織体制の維持について組織内で検討する。 ② 事業の整理統合。 ③ 時代に合った事業の実施。																						